

青森自治研 会報

2017.6.23 第95号

青森県地域・自治体問題研究所

tel 090-2276-0477 fax 017-764-3213

URL <http://jichiken.kenrouren.jp/>

emai aomorijichiken@kenrouren.jp

昨年12月13日に開かれた理事会の様
様からお伝えしたいと思います。

神田

昨年(2015)、第15回セミナーのあ
と、岡田・大竹・古村氏らと話を
する中で、第16回セミナーを浪
岡でやろうということになった。
話しを積み重ねる中で、浪岡の
合併問題=合併後の街づくり
から、合併反対、分町を視野に
入れた合併問題の検証が必要で
はないかとの思いに至った結果
、訓子府町長の講演になった。
今後一年かけて、検証を行い、
再度浪岡でセミナーを行う方
向でいきたい。全国自治研で、
地方創成とのからみで合併問
題を取り上げる。12.24~25に
会議があるが出席を打診されて
いる。

また、全国で合併反対で検索
すると浪岡ともう一か所ぐら
いしかヒットしないことなど
も明らかにした。

奥村

そもそも平成の大合併がなぜ
提唱され、2005年に駆け付け
合併に至ったのか。

・この一年、合併問題を取り
上げ検証していくことが確認
された。

第一回浪岡合併問題検証会議 (17.2.9)



<https://youtu.be/NNJJ6SJEihw>

神田

合併を考える会の貴重な資料
がある。賛成派が描いたバラ色
の未来、反対派が指摘した問
題点、貴重な資料があるの
だからこれに基づいて検証し
ていこう。

全国自治研でも議論になって
いるが、独立しようというの
はなかなか無い取り組みと
言われている。

古村

合併問題が出てきたとき、3
300という市町村の数は大切
だという思いがあった。国の
動きに抗するところができ
たり、市町村は平和護憲のた
めにも必要だ。平成16年1
2月の県議決の結果、翌1月
に国が合併を認めた。その結
果旧青森市と浪岡ではいろ
んな差が出ている。県議会
で質問しても問題にならない。
住民の側からの声が必要だ。
地方自治というのは民主主義
の学校だと言われてきた。分
町の声も全国で3つぐらいあ
ってもいいのではないかと。自
治研の取組みに期待したい。

神田

自治研(全国)には財政的な
部分の検証に協力を頂ける。
検証している自治体としては
岩手が報告書を出している。
青森県はどうか。

その他参加者から

県や青森市から、報告書出
ているが、検証する内容にな
っていないなどの意見が出
された。

第二回浪岡合併問題検証会議 (17.4.18)



https://youtu.be/dhcGf3PQ_zs

古村ほか

・外ヶ浜町長選に見る飛び地合併の影響、蟹田と三厩の微妙なバランス。

前回は今回も青森市に住む者が当選している意味。本来当選したなら、住所を移すのが本来あるべき。税金を町に払わない。そういった姿勢。

・空港道路に見る浪岡の冷遇。本来青森浪岡間のバイパスとして国から補助金を得ている。わずか1.7kmのために210円。

・青森県の合併は何例かあるが、郡界を超えて合併は浪岡だけ。国の行政機関・税務署や法務局などが変わった。国に対する住民要求などの取り上げ方も旧市内中心になっている。

青森の河川は陸奥湾だし、浪岡は日本海。

・選挙区区割りの問題もある。国・県。青森市議会議員選挙は農繁期の10月。

・県全体の問題となると、飛び地合併3か所ある。それを取り上げ資料作りは大変。進めるには地元の人例えば主導権を握っていない地域からの意見が大事。新郷・田舎館は合併しなかったが、田んぼアートは中国から視察に来るなど注目を浴びたりしている。

・岩木相馬は、合併して産業面では良い面が出ているのではないかと。福祉関係は後退したという意見がある。西目屋はいろんな施策を打ち出している。

・各地域から、集まってもらって話を聞く機会を設けられればいいのだが。飛び地に住む人たちの意見、三厩はいち早く反対の声が上がったが、選挙により中断されてとん挫した。

・とっかかりは、個人とか議員がいいと思う。当面浪岡の問題を中心に据えて取り組む。

・原発立地・予定地の自治体は合併しない。分け前独り占め。

神田

・課題を整理する機会と、全国研の大和田さん（財政分析の一人者）の講演を設けるなどし、整理しながら、具体化し分担を決めていくのはどうか。

その他

・合併特例債、100億円

・財政的には国が主導するのは判らない訳でもないが、歴史的には地方住民の生活・文化・産業のもとに調整される形で自治体の区分けが出来上がってきている。住民自治というのが壊され、どのような変化を見せ始めているかの視点も大事。

・旧青森市にも支障が出ているのではないかと。県庁があるからもっている。税金に巣くう者が多いのではないかと。アウガしかり。

参考資料

「浪岡の合併、まだ終わっていない」
資料集（HPにアップ済み）

第三回浪岡合併問題検証会議 (17.6.12)



<https://youtu.be/9UZf3i0odLY>

坪田、古村

浪岡の合併問題、何を目的に検証し、その後どうしようというのか。

神田

青森市と浪岡町が合併（編入？）とってから12年。果たして、旧青森・浪岡にとって良かったのか、悪い結果しかないのか。当時約束されていたことは守られたのか。検証の結果、分町が住民にとって幸せをもたらすものなら、それも視野に入れることとなる。

財政的な面からの分析もしたい。

坪田

冊子、「浪岡の合併、まだ終わっていない」をまとめたのは、2008年市長選の時に鹿内氏応援用だった。しかし、鹿内氏が当選したことで分町に向かって進もうという形にならなくなったのは事実。

浪岡の合併、立ち上がりが遅かったこともあって逃げ切られた。町長リコールの結果を待たずに議会は賛成派が多かったため、町民の動きは全く身視され合併を決められてしまった。住民投票で決めるということであれば間違いなく白紙となった筈。

何故、強硬に議決し突き進んだのか、職員は旧所属給与規定だったが、議員報酬は、青森市議会議員報酬の規定通り支払われる。

2004年の合併、2008年の市長選、鹿内市長や福士区長のもとで、分町の旗を掲げられなくなったが、合併検証委員会がつくられ、市長推薦7人公募5人の12人でやってはいる。第一回目は2008.9.30。その委員会は合併のわだかまりを解消するという前提があった。

旧青森市民は説明会をもつことすらなかった為か合併に関心がなく、旧浪岡町民は合併に疑問を持っている。

それでも、「アンケートをやろう、住民の意見を聞いてみる」という選択肢があったが、委員長や事務局は消極的であった。「反対の意見が多かったらどうする？」

「分析集計は、委員会でやってください」26回、3年6ヶ月やった。結局、住民からの意見を聞くことなく役所の資料の範囲、メリットデメリットも役所の提示。

一市二制度も5年で無くなった。当時、女性方が出していた新聞があったが、「今は約束通りになるかも知れないが、悉く良い制度はなくなる」と書かれていた通りになった。サービスの低下ははっきりしている。賛成派もこんな筈ではなかったと言っている。

とどのつまり、平成の大合併は究極の行政改革ではないか。議員を減らし、職員・住民サービスを減らし、各機関も減らす。

検証するなら、住民の暮らしはどうなったのか。浪岡の22,000人という住民の数は、あずましい生活を営むにふさわしい数の自治体であった。

分町はハードルが高い。市議会で議決が必要。賛成を得るには合併は誤りであったとする議員が多数でなければならない。熱心になってくれる議員を一人でも確保しないと始まらない。

住民の意思を確かめることなくなされたことや、合併告示がなされていないということもあり、裁判でも争われたが、最高裁で棄却された。「告示」というのは公務では重要な要件であるのに、知れ渡っていたということで一顧だにされなかった。

合併の約束は守られたのか。12年を経てどうなのか、住民に聞くことが必要ではないか。旧青森市と浪岡は、産業構造が違いすぎる。以前無かった農林部は、合併によりでき浪岡庁舎におかれている。

合併でどう変わったか、よくなったと答える住民は少ない。何より、今だもって青森から来たといい、浪岡ではという。また、いろんな面で格差がある。前は、住民活動への補助があったものが削られ、旧青森市中心の市政であったり、旧浪岡町職員というだけで給与格差があったりする。

奥村

合併問題を考えるときに、機軸を明確にして取り組むことが大事ではないか。生活者としてはどうか、財政的にはどうかなど。

木村

国に押し付けられた合併、国から出る金を減らす改革。住民サービスはどんどん切り下げられている。

五所川原市も合併しているが、職員給与格差の面は、同じ公務サービスを担うものとして、是正に取り組んでいる。人員削減が進みすぎて、正規非正規半々となってしまった。

古村

合併してどうなったか、浪岡の事例。行政制度は？財政的には？県内的には？行政サービス・指定管理制度・飛び地合併・合併で敬遠された自治体、原発マネーを独り占めしたい自治体。

「県内的にはどうだったのか」を青森自治研に期待したい。

全国自治研には、国全体はどうかなどを期待したい。

その中で浪岡はどうなのか。

講演と総会のお知らせ

2017.7.16～17、講師に大和田一紘氏を招いて合併問題について講演をしていただくことを確認。

別紙チラシを参照ください。

2016年度の総会

場所、青森市民ホール 4F

時間、15:30～16:30

(懇親会も行います。

事前にお申込みください。)

今年度の会費の払込票を同封させていただきました。早期納入にご協力ください。

メールアドレス・FAX番号登録にご協力ください。(用紙の入っていない方は不要です。)

*会報の発行が久方ぶりになったことご容赦ください。今年一年は合併問題について取り組んでいることを、お知らせできればと思います。

会員の方から、地域問題の情報をお寄せいただければ助かります。

青森県の地域問題

「労働白書に見る子供の貧困

青森県版」

「地域の疲弊が叫ばれて久しいが、

具体的にどうなのか」

等々